

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月29日	記入者		連絡先	2693
平成18年度部名	保健福祉部	課名	こども施設課	課長名	甘利 昇
平成19年度部名	こども育成部	課名	こども施設課	課長名	内田 雅美
事務事業名	児童厚生施設維持管理費				
予算上の事務事業名	児童館維持補修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		13120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます				
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				
施策名	第2施策 子育て支援の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	児童福祉法、相模原市立児童館条例				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
平成17年度から事業化したもので児童館の遊具や施設の小破修繕を行い、施設の維持・児童の安全確保等を目的に実施する。					児童厚生施設利用者
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	7月に実施した施設修繕要望調査及び現地確認により必要な修繕箇所の実施 平成18年度決算見込額 物品等修繕料 409千円 施設修繕料 5,376千円				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	こどもセンター維持補修費、児童クラブ維持補修費				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	5,180	5,785	4,800	5,000
一般財源	0	5,180	5,180	4,800	5,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	335	335	335	335
事業コスト合計	0	5,515	6,120	5,135	5,335
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	児童館施設修繕			対象名称 と単位	児童館数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	300	409	500	500
対象数	0	25	25	23	22
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	12,000	16,360	21,739	22,727
前年度比		#DIV/0!	1.36	1.33	1.05

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	施設修繕施設数	指標式と指標の説明	施設修繕を実施した児童館数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	3.0	1.0		
目標	0.0	3.0	1.0	3.0	3.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	児童館利用者数	指標式と指標の説明	1年間の児童館利用者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	348354.0	355227.0	395000.0		
目標	345000.0	348000.0	375000.0	368000.0	370000.0
目標達成度（%）	101.0	102.1	105.3		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ] : 良好な状態を維持する事業				
	[ ] : 概ね良好な状況である事業				
	[ ] : 見直しを行う必要がある事業				
	[ ] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		安全面を中心に修繕をしてきた。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
建設後40年を経過する施設も有り、各館老朽化が進んでいるため、修繕計画の策定が必要である。			維持補修費の確保		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			